

平成29年度福井大学臨床研究講習会



平成29年度福井大学臨床研究講習会を下記のとおり実施します。

関係する教員、医療系職員等は参加いただきますようお願いいたします。

なお、ヒトを対象とした臨床研究の実施にあたっては、事前に講習会の受講が必須となっております。今後、臨床研究を実施予定の方は是非受講してください。

今回は、外部講師による講習となっておりますので、多数の参加をお待ちしております。

記

1. 日時 平成30年3月6日(火) 17:30 ~ 18:45 (予定)

2. 場所 臨床大講義室

3. 演題名 「研究倫理はなぜ必要か：臨床研究と日常診療の違いを考える」

同じような医療行為を行っても、研究として実施する場合と診療として実施する場合には、全く異なる手続きを経る。

研究として実施する場合には、倫理審査委員会による事前チェックが必須となり、説明文書に記載すべき項目は明確に決められている。

これに対して、診療として実施する場合には、基本的には医療者と患者・家族の話し合いに委ねられる。

本講演では、研究と診療の違いや両者のグレーゾーンにある医療の扱いについて、国内外の議論動向を踏まえ、考え方を解説する。

4. 講師 田代 志門 先生

国立がん研究センター 生命倫理研究室 室長

5. 対象者 教員、医師、看護師、その他医療従事者等、臨床研究に携わる者、大学院生



<問合せ先>

- ◆医学研究支援センター 内線3209
- ◆松岡キャンパス総務室 学術支援係 内線2021・2022・2023
- ◆総務管理課 医療研究支援係 内線6660

※ この講習会は、「大学院セミナー」も兼ねていますので
大学院1・2年生は是非参加してください。